

募集しています！

# “認定ヘルパー”にないませんか？

## 認定ヘルパーってなに？

支援が必要な高齢者のお宅を週1, 2回訪問して、掃除や洗濯、調理など日常生活に必要な援助を行うヘルパーです。



## どういふことをするの？

基本的な家事などの日常生活の援助がお仕事です。

ここがPOINT!

食事ケア、入浴介助、排泄ケア等の身体に直接触れて行う**身体介護**は行いません。



## どんなヘルパーさん？

自分でできることは自分で、難しいことはお手伝いしながら、利用者さん自身の力で日常生活を送ることができるように、適切な支援をする人です。

家政婦ではありません  
“**自立支援**”です！

## 認定ヘルパーになりたい！ どこに相談すればいいの？

島原地域広域市町村圏組合  
介護保険課

☎61-9102

まで、お電話ください！

## わたしにもできるかな？

ヘルパーとしての知識や経験がなくても大丈夫。**認定ヘルパー養成講座**を通して必要な知識を学ぶことができます！あなたも認定ヘルパーとして活躍しませんか？

介護福祉士、介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)など、ヘルパーの資格をお持ちの方は受講なく、**すぐにでも活躍できます！**



# みてみよかい！

No.61

～令和6年度 冬号～

謹んで新年の**お慶び**を申し上げます

10/31

公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症の人と家族の会 島原「お城の会」  
講演会が開催されました！

「いつまでも自分らしくいるために」  
をテーマに森岳公民館にて開催！

60名の参加があり、講演や創作落語を通して認知症についての正しい理解や対応を学びました。



講演：「認知症の人の気持ちを一緒に考えてみませんか？」  
講師：認知症疾患医療センター  
認知症認定看護師  
林田 妙子氏



認知症にまつわる創作落語  
～落語で楽しく笑って認知症予防～  
しまばら落語会  
浪花家 すずめ氏



「お城の会」の会員やボランティアによる受付の様子



## 参加者の感想

- ・笑顔で接することや優しい言葉かけ、話をしっかり聞くことが大切と知った。豊かな時間になった。
- ・「その人の心に届くような関わり」本当に大切なことだと思った。
- ・久しぶりにおなかの底から笑った。創作落語素晴らしい。プロですね！



【編集後記】2025年は、60年に一度巡ってくる「乙巳（きのと・み）」の年です。乙巳の年は、新しいものが生まれ、成長していく年と言われています。今年何か新しいことにチャレンジしてみるのもいいですね～！



発行元 島原市地域包括支援センター 広報委員会  
TEL: 0957-65-5110

島原市 包括 で検索を♪



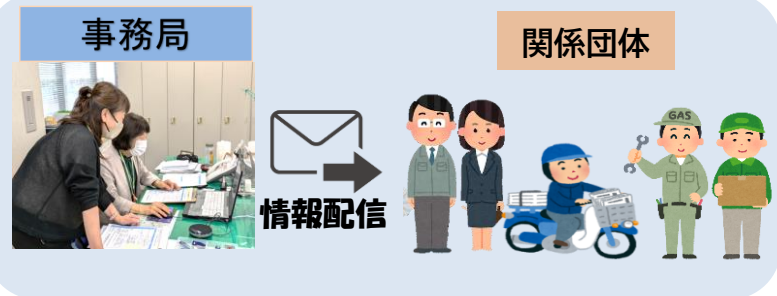


11/15  
実施

# SOSおかえりネットワーク 配信模擬訓練

全国でも認知症による  
行方不明者は年々  
増加傾向にあります！  
2023年は1万9千人

島原市高齢者等見守りネットワーク協議会の「SOSおかえりネットワーク」では  
行方不明者が発生した場合に備えて協議会の関係団体に情報を配信するしくみを作っ  
ています。  
今回は模擬的に配信し、発見の情報提供や声掛け体験の模擬訓練を行いました。



参加者延べ**190名**!!  
皆様のご参加とご協力  
ありがとうございました！

(参加者の感想)

- 不安にならないような声掛けの方法、実際に体験してみないとわかりませんでした。
- QRコードを読み取ることも知れて良い体験となりました。
- 今回のような訓練を定期的に行っていく事で本人及び家族を守ることにつながると思います。

12/20

## 第四小学校 5年生のみなさんが「福祉学習」の まとめの活動として、声かけ体験に挑戦しました！

「ご協力ありがとうございました」  
民生委員・児童委員等のネットワーク委員と  
介護人材育成確保対策地域連携協議会の  
皆様のご協力のもと開催しました。

「五年生の感想」

- 困っている人がいたら勇気を出して声をかけたい
- まずは地域で挨拶をがんばる
- 誰にでも優しくしたい

「お金を一緒に数えましょうか？」

「大丈夫ですか？」

「ゆっくり上りますね～」

「公民館に行きたかばってん、道のわからんよ～」

「僕と一緒にいきます！ついてきてください！」

11/22

## 在宅医療・救急医療等の連携セミナー (第34回「在宅医療サークル」)

アドバンス・ケア・プランニング  
(Advance Care Planning)

<政策動向の説明>

- 「急変時における在宅医療の体制整備について」  
厚生労働省医政局地域医療計画課

<事例紹介>

- 「患者急変時の在宅医療・救急医療連携について」  
臼杵市医師会立コスモス病院院長  
**舛友 一洋 先生**

<オープンディスカッション>



最期まで自分らしくいるために  
自分の意思を伝え・残すことが  
大切

～オープンディスカッション～  
市内の先生方に在宅医療、救急医療について  
多くの意見をもらいました。



\*その人らしく人生を生きるための取組\*

命にかかわる大きな病気やケガをしたとき、自分の  
望む医療やケアを受けるためには、普段から周りの人  
に自分の思いを伝えておくことが重要です。

自分の思いを記す ACP「もしもメモ」  
もしもの時に備えて書いてみませんか？

ACP 「もしもメモ」

氏名( ) 介護の希望

記入日(更新日) 年 月 日

どこで介護をしてほしいですか

◆決めた人

□わたし □家族  
□介護支援員( )  
□専門( )  
□医療機関 ( )  
□その他 ( )

◆誰に介護してほしいですか

□できるだけ家族にまかせたい  
□ヘルパーなど介護の専門家にまかせたい  
□家族・親族の判断にまかせます  
□その他 ( )

◆最期を過ごす場所はどこがいいですか

□自宅 □病院 ( )  
□介護施設など ( )  
□まだ決められない  
□その他 ( )

◆病名と余命の告知について

□病名も余命も知りたい  
□病名だけ知りたい  
□余命だけ知りたい  
□病名も余命も知りたくない

◆延命治療についての希望

□最期まで、できる限りの延命治療をしてほしい  
□苦痛を和らげる治療を優先してほしい  
□回復の見込みがないのであれば、延命治療は  
希望しない  
□家族・親族の判断にまかせます

◆生命維持が困難な状態となった時の処置について

□希望する □希望しない □わからない  
□希望する □希望しない □わからない  
□希望する □希望しない □わからない  
□希望する □希望しない □わからない  
□希望する □希望しない □わからない

◆その他伝えたいこと・家族の意向など

例えば  
「トイレに行ける間は家で過ごしたい」  
「もしもの時でも最期は呼ばないでほしい」  
「私たちのことを私たちが決めてほしい」

\*ACP「もしもメモ」は  
島原市、島原市地域包括支援センター  
で配布しています！  
島原市在宅医療・介護相談センター

## ご存じですか？ 「長崎県ケアラー支援条例」

ケアラー支援は、家族の介護や日常生活の  
お世話をしているすべてのケアラーが  
「個人」として尊重されること  
「健康で文化的な生活を継続すること」  
を保障するものです(第3条基本理念より)

様々な悩みや困り事をもつケアラーのみなさんが  
自分らしく生活できるように、支援していきます。

ケアラー支援に係る島原市  
地域包括支援センターの  
取り組み一例 コチラ



島原城下プログラミングスクールのご指導  
のもと、中学生ボランティアと一緒に  
ケアラーを支える  
応援するためのWEBサービス  
を作成しました。

リリースまでもうすぐ！おたのしみに！